

2013年1月7日



## 2013年 社長年頭所感

1月7日（月）年初にあたり、日本特殊陶業株式会社（本社：名古屋市瑞穂区）では、社長 尾堂真一から社員に対して「年頭所感」を伝達しました。その内容は下記のとおりです。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

2013年は、中期経営計画【日特進化論】における、現事業の深掘という〔深化〕の3年の活動を総括するとともに、新たな事業展開へ活動を飛躍させる〔新化〕の3年への移行の節目の年となります。今年1年の活動は、【日特進化論】において、骨格の中心を形作る重要な初年度の活動という位置づけです。

【日特進化論】は、「当社は、“現業を深く掘り下げる”、“新しい事業、事業領域に挑戦する”、“変革し躍進する”の3つの〔深化〕〔新化〕〔進化〕を实践し、2020年には、●ものづくり企業、●高収益率企業、●発展的企業、●人“財”企業であることを目指し、これを実現することによって、すべてのステークホルダーに対して、“真価（真の価値）”〔Real Value〕を提供しているという状況を作り上げる。」というものです。

従業員の皆様、役員一同とともに、総員参加の意識を持って、各自がそれぞれの持分で活動されますことを、心よりお願い申し上げます。

活動にあたって、昨今のように、事業環境が目まぐるしく変化する中においては、常に時代の先を読み、如何に対処してゆくか、スピードを上げて、先に先にと、如何に回りこむことが出来るかが、全ての勝負を決定付けます。

チャレンジする以上、リスクはついてまわります。変わることのリスクを恐れ、変革を求めないことが、最大のリスクです。

我々は、これからの3年において、新しく〔新化〕するのです。

新たな展開に挑戦する〔新化〕のフェーズを迎える年の初めとして、今一度、2020年のあるべき姿を、心に描きながら、本年の総員参加での活動に向けて、新年の誓いを、皆さんとともに確固たるものに致したく思います。

まさに全員でチャレンジです。一丸となって、新しくなるための果敢なる挑戦を实践していきましょう。

以上